

東洋医療専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料①

【令和2年7月5日 実施】

令和元年度自己点検自己評価(平成31年4月1日～令和2年3月31日)による

項目	点検項目	自己点検	重点目標	評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
1 教育理念・育成人材像	1-2 学校の特徴は何か	運営目標の「4つの信頼」と3つの教育(教育理念)をベースに、育成人材目標の達成のため、独自の教育システム(PiBAP)を実践し、学生個人の自主性達成のためのPDS教育システムを導入し、社会に貢献し各業界のニーズに即した人材育成。	本校独自のPiBAP教育システムをベースに作成されるカリキュラムに、キャリア教育の視点に立った内容を加え、さらなる職業人教育の質を高めている。	2.7	【歯科理工士学科】 社会にでもと通いにくいことも多いため、小さな不条理にも耐えられるマインドが必要。 【救急救命士学科】 学生一人ひとりにも認識させる必要があります。
2 学校運営	2-4 運営方針は定められているか	学校運営方針は、滋慶学園グループ共通の5カ年計画に基づき、明確に定めている。年末に行われる事業計画発表会で学校運営方針や各セクションの運営方針が発表され全教職員が共有している。また隔月に開催される全体会議において運営方針に沿った話し合いが行われている。	働き方改革に基づく、業務のありかたを見直し、効率の良い労働環境を目指す。	2.6	【救急救命士学科】 教員が日々の業務のみに追われ、教育の質が落ちることがないことを望みます。 【高等学校】 寄り添い理解する視点を持って、教職員の育成に努めていただきたいです。
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	知識・技術面においての業界のニーズに対しては、教育課程編成委員会での意見や講師会議でのすり合わせにより、具体案が明確となり、指導方法にも工夫ができています。	業界の求める人物像という点においては、キャリア教育(求められる社会人)において指導の工夫が必要である。ニーズの変化に対応していかなくてはならない。	2.6	【歯科理工士学科】 デジタル機器の進歩に順応できる人材を育成してほしい。 ・毎年の講師会議で改善点を挙げていくのが教育の成果に反映されていると思います。 【救急救命士学科】 教員が日々の業務のみに追われ、教育の質が落ちることがないことを望みます。 【鍼灸師学科】 教員各位の独自の教材の作成等ご協力に感謝します。 【柔道整復師学科】 各教員が持つ気持の持ち方・接し方・患者から自分とどう評価されているのか、どう改善すべきなのか自分を見直す必要があると思います。 ・業界のニーズを把握することも重要ですが、学生とニーズの差を埋めることも必要だと思います。一方通行になると社会に出た時の差に劣劣すると思います。
4 教育成果	4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	国家資格養成校であるため、国家試験の合格が専門職就職に直結する。具体的な取り組みについては、就職情報掲載掲示板で連絡、就職説明会の実施、キャリアセンターの設置などを行っている。	歯科理工士学科、鍼灸師学科、柔道整復師学科については、質の良い就職先の確保が課題となる。また、毎年この卒業生を採用したいと思われる状況をつくっていき、救急救命士学科については継続して地方公務員採用試験に合格しうる教育体制を創ってきたい。	2.5	【歯科理工士学科】 各学科の持っている特色を活かしながら就職先を検討していくのはどうかな。 【救急救命士学科】 地方公務員採用試験対策は最重要だと思います。 【高等学校】 コロナウイルスの影響で大変かと思いますが、就職先の確保をお願いします。
5 学生支援	5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	定期的な健康診断を行っているだけでなく、再診の促しやその後のフォロー、自己管理の教育を行っている。また附属整骨院や鍼灸院などもあり、学生健康相談や施術を行い、充実している。	再診率の向上に取り組んでいかなければならない。	2.5	【歯科理工士学科】 定期的な健康診断や再診に力を入れているのは良いと思う。 【鍼灸師学科】 ・以前から課題としていた学生の食生活の充実・向上と規則正しい生活に向け、特に食事制限や生活習慣病についての指導が必要だと思います。 ・心理的フォローがあることも学生にしっかり伝えてください。
6 教育環境	6-33 防災に対する体制は整備されているか	想定される災害に対する防災体制は整備されており、緊急連絡メールシステムが設置されている。損害保険等にも加入している。避難訓練等を行っている。また校舎毎にAEDが設置されており、校舎は地域の避難ビル指定も受けている。学生には、防災マニュアルが配布されている。9月5日に学生教職員対象の防災訓練計画。	有事を想定した防災用品の充実が求められる。教職員や在校生においてより高い意識向上を目指していきたい。非常時におけるマネジメントシステムの構築。	2.7	【歯科理工士学科】 ラボと歯科医で協力し合い、ZOOMの活用方法を早急に考えたいと思います。 ・どこも初めて経験するコロナ禍による取り組みなので大変かと思いますが、頑張ってください。 ・時代に沿った新しい設備を導入していることは素晴らしい。 【救急救命士学科】 医療人となるため、本コロナ禍での対策は教育に良い機会だと思います。 【高等学校】 実習が重要な学校だけにコロナウイルスの予防対策を徹底した上で是非実施していただきたいです。
7 学生の募集と受け入れ	7-34 学生募集活動は、適切に行われているか	大阪府専修学校各種学校連合会の規定に基づき、適正に行っている。広告倫理委員会・個人情報保護委員会などを設置し管理している。適性を判断するための判定会議が設置されている。	学力レベルの低下に対する合格決定後の指導の充実もともより、入学前における職業への理解や意思の確認、モチベーションの持続に努力しなければならない。	2.4	【歯科理工士学科】 他の専門職と比べても、歯科理工士の給料や待遇は決して悪くないと思います。学生募集に関してデジタル化をもっと図れば良いと思います。 【鍼灸師学科】 ・入試以前に各専門職についての知識・理解を強化していただけたらと思います。 ・年齢の若い学生には親の影響力が大きいので保護者にもアプローチをお願いします。 【柔道整復師学科】 目標を早期に持つてもらおうとで学生生活における手本バージョンアップを図るのはいかがでしょうか。 【歯科理工士学科】 健全な経営をしていただいていると思います。
8 財務	8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	財務状況は健全であるといえる。また収支計画に沿った運営が出来ている。	特になし。	2.6	
9 法令等の遵守	9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	個人情報保護法に基づき、厳重な管理体制となっている。学校内で個人情報保護規定を定め個人情報保護委員会が中心となり運用している。オリエンテーションにおいて学生にも個人情報保護の教育を実施している。	学校は個人情報の集積であるとも言える。教職員や講師、学生において更なる理解が必要である。教職員全員が個人情報の知識向上のため「認定CPAアカデミック(個人情報取扱従事者)資格」を取得	2.8	【救急救命士学科】 個人情報の取り扱い扱いは就職後においても重要で必要教育だと思います。 【鍼灸師学科】 ・年齢の若い学生には親の影響力が大きいので保護者にもアプローチをお願いします。 【柔道整復師学科】 目標を早期に持つてもらおうとで学生生活における手本バージョンアップを図るのはいかがでしょうか。 【歯科理工士学科】 健全な経営をしていただいていると思います。
10 社会貢献	10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	学校の教育資源を活用した教育機関や企業、業界との連携は重要であると考え取り組んでいる。学校関係者以外が参加可能な講習会や講演会が実施されている。柔道整復師学科においては、地域スポーツ大会などにおいての救護員・救命士学科においては、消防の防災非難訓練参加や運営スタッフ、高等学校中学校の CPR講習会などで協力している。学園祭では、大人だけでなく地域の子供が参加しやすい環境を整えている。大阪府教育センター主催の府下の幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭対象のサマーセミナーも開催している。	専門教育のみならず、目指す業界の動きや情報を得ることは重要である。今後も企業や業界との連携を強化していきたい。 また重要な社会問題についての認知と理解、それへの取り組みはキャリア教育の観点からも重要であり今後も取り組んでいきたい。 キャリアセンターの活動の更なる充実を目指している。	2.6	【救急救命士学科】 社会貢献はとても重要な取り組みだと思います。 【鍼灸師学科】 休日を利用しての災害地へのボランティア活動を自主的に行う学生への交通費・宿泊費等の支援などを検討してはいかがでしょうか。 【高等学校】 引き続き社会貢献活動をお願いします。
11 国際交流	11-48 グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	各学科の専門性を考慮した海外研修が行われ、自らが目指す世界の最先端に触れることにより、世界的視野を持った職業人の養成をめざしている。具体的な取り組みとしては、国家試験のためのカリキュラムに加え、申し込み制の英会話セミナーを実施している。	各学科の海外研修の更なる充実に向けての取り組みが重要。鍼灸師学科における中国浙江中医学大学との同時入学制度の取組みによりこれまで多数の留学生を輩出している。	2.8	【鍼灸師学科】 コロナウイルスの影響で今年は厳しいかもしれませんが、中国浙江中医学大学との交流など重要な機会だと思います。

東洋医療専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料②【歯科技工士学科】

令和元年度 自己点検自己評価(平成31年4月1日～令和2年3月31日)による

評価委員氏名【小原雅生、越智章、田中利哉】

項目	点検項目	自己点検		評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		DT	重点目標		
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	業界のニーズは非常に幅広く、求められる人材も多種多様である。また、卒後は、即戦力となるよう、基本的な知識・技能の修得に力を入れている。加えて、人間教育の原点であるキャリア教育、コミュニケーション力の向上に力を注いでいる。	人間教育の原点であるキャリア教育、コミュニケーション力の向上が重要と考える。	3	【越智】 学生本人の資質を活かしながら、働いてお金をもらうことの厳しさを理解させる必要があると思います。 【小原】 日常の中で身につけることだと思うので、指示に加えて報告・連絡・相談が自然にできる関係が大切になってくると思います。 【田中】 今後もコミュニケーション力の向上に力を入れてもらいたいと思います。できるだけ一人ひとりの学生に対しての声掛けが重要と思われま
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	本校独自の時系列なPIBAP(ピバップ)教育システムで体系的に編成される。カリキュラムの編成については、国家資格取得を第一に、業界のニーズ、社会的なニーズ、人間としてのニーズなど、キャリア教育的な観点も取り入れつつ体系的に組み立てている。	実技を中心とした教育内容であるため実習作品の完成度で到達目標を確認することも重要である。	3	【越智】 形態だけでなく咬合、適合だけでなくフィット感、コンタクトポイントの重要性といったように形を作り上げるだけでなく、意義を考
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	シラバスにより科目ごとで指導内容や進行状況を把握できるようにしている。各教科ごとに教員間のコミュニケーションを密にし、科目間の連携も重視している。	基礎教育の段階では歯の形態をすべて把握することは重要であるが、歯の形態の理解にCAD機器によるデジタル手法を用いることも有効である。	2.5	【小原】 コロナ禍において実習が一番伝わりにくいと思います。ご苦労があるかと思いますが、健闘を祈ります。 【田中】 実習作品の評価は重要だと思います。毎年のテクニカルコンテストは学生にとって有効だと思いま
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	キャリア教育の真価は業界の評価にあるといつて良い。常に雇用側からの情報を収集し、実効性や不足している点を検証している。	キャリアセンターを中心にマナー教育・就職ガイダンス等、キャリア教育をおこなっている。キャリアセンターと連絡を密にする。	2.5	【越智】 社会人として技工士として働く上での理想と現実のギャップを埋めてあげたい。 【越智】 早急にデジタル化を進める必要があると思います。 【田中】 コロナウイルスの影響もあり、有効にCAD機器を使用することが必要になると思います。
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	学生の評価が業務の直接の評価であると考え。また評価が高ければ学生の満足度もつながる。学生満足度アンケートを継続している。	授業内容と学力との差が離れていると授業についていけない学生の満足度が低い場合があり、特に苦手な科目には補習等のフォローが必要である。	2.5	【越智】 評価の意味を理解できる学生を育ててほしいと思います。 【田中】 一人ひとりの学生への声掛けが必要になると思います。
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	講義科目、実技科目共に専門性、臨床経験を兼ね備えた教員で取り組んでいる。教員各自がグループ校全体の研修や業界が開催する研修会に参加している。	業務をおこなう上で最も大切なことはソフト面(教員)であり、教員がさらに成長していける環境作りが重要である。そのための意識は専任教員・非常勤講師ともに高い水準を維持できるよう取り組む。	3	【越智】 学生の質は相対的に高いと感じます。 【田中】 行事や研修に参加していることが有効になると思います。
	3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	在学中、キャリアセンターと連絡を密にしながら就職完了まで取り組んでいる。個人面談を中心に本人、保護者の理解を得ながら就職活動を進めていく。	卒業生の満足度を把握するためには、卒業後の情報収集が必要となり同窓会と協力している。	2.5	【田中】 歯科技工士会とも協力し合えると良いと思います。
4 教育成果	4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	合格率100%が維持できている。	国家試験対策では模擬試験を中心とした教育が重要と考える。	3	【田中】 合格率100%は評価されると思います。
	4-20 資格取得率の向上が図られているか				

東洋医療専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料②【救急救命士学科】

令和元年度自己点検自己評価(平成31年4月1日～令和2年3月31日)による

評価委員氏名【 正井 潔、濱 輝香 】

項目	点検項目	自己点検		評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
		ELT	重点目標		
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	業界のニーズは公と民間で異なり、非常に幅広い。資格を取得しただけでは就職が(公務員試験の倍率が)高く困難である。したがって、救急救命士として基本的なことは勿論、社会人としても非常に高い一般知識・教養を求められる上かなりの体力(体力試験)も要する。 国家試験の出題基準は今年度改定され、問題数の割合も変更となっている。このため、対策の変更を学科内で定期的に会議を実施し、現状と対策の改善点について情報共有している。業界の求める救急救命士の養成には更なる努力が必要である。	1.公務員対策の更なる充実(一般教養・知識、SPI、体力、作文・自己PR)を図る。 2.初任科教育前に所属に配属するため即戦力としての要素も備える。 3.処置・職域拡大を含む、業界の求める人材養成に向けての情報収集からカリキュラムの再構築が要求される。→今年度学則変更予定。 4.専門職採用の枠を受験する場合も考え、国家試験に受かるレベルの教育を担保する。	2.5	【正井】 積極的かつ充実した教育体制で専門性と国家試験の合格率が向上することを期待しています。
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	3年の教育期間の中で夜間部でも最低限の基本的な内容は網羅したカリキュラムとなっている。昼間部においてはさらに実習や公務員試験対策にゆとりを持った内容となっている。いずれの科目も到達目標・評価の基準を公表、実習においては客観的な評価が行えるよう効果測定の基準を設けている。	1.標準化された病院前救護、災害医療について修業年限に応じた実習の組み立てを行っている。 2.処置の拡大、定期的に変更されるガイドラインにも柔軟に対応でき、都度、効果測定についても見直している。 3.『救急活動実施要領』を作成し、以降学生全員に配布。	3	【正井】 学生一人ひとりの実力を向上させるのは相当な努力を要すると思います。健康を祈ります。 【濱】 時代に沿った指導が重要になると思います。
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	カリキュラムの編成は学科の教育目標を基礎に、資格取得に関わる指定基準を満たしている。全ての履修科目を必修とし、学生に統一した内容が教育できるようにしている。また、授業時間以外にセミナーや補習を設けて学生のレベルの統一化を図っている。	1.各自治体ごとに異なる情報の共有が民間施設(病院、民間救急、警備系)より容易ではない。必要時、消防訪問を実施して情報の共有に努めている。 2.指定基準は満たしているが、学生のレベルが年々低下しているために基礎学力、文章作成力強化についての取り組みが必要と認識し実施している。 3.処置拡大・職域拡大に向けてカリキュラムを変更している。指導教員は拡大処置に対する研修会を済ませ授業に反映させて、学科内でフィードバック、共有している。	2	
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けられているか	各科目は適正な位置付けをされている。全科目において授業開始時に配布、出来るよう講師協力および専任努力を続けている。学生にもシラバスの重要性についてオリエンテーションで周知することを継続している。 コマシラバスについても必要性の説明と協力依頼(専任がまず作成)の継続が必要である。	1.2019年度から"統一シラバス"を作成し、毎年更新とホームページ上に情報公開している。講師の変更があるので冊子での配布には至っていない。毎年更新してHPへ公開する。 2.コマシラバスについては継続して依頼する。	2	【正井】 学生がもっとシラバスを活用すれば良いと思います。
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	実習の中で職業人としての自覚や態度を涵養しつつ、専門知識・技術を生かすためのコミュニケーション、問題解決能力をつける指導を行って効果を挙げている。グループ全体でキャリアロードマップを作成導入し、その重要性の認識を共通とした教育の実践を行っている。	1.元消防職員を専任に配置し、学科会議等で情報の共有を行っている。 2.消防訪問や来校時の聞き取りを実施し(就職関連・教育関連)新しい情報を取り入れ必要時教育や就職の為に指導に生かしている。	3	【正井】 元消防職員である専任教員の経験に基づく指導や声掛けは学生のモチベーション向上に繋がると思います。
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	学生による授業評価から得られる情報は教育システムの確立・見直しに有用と考えている。ただし、医療系国家資格を取得する学科として学生の多様性問題(学習習慣の欠落、集中力の低下及び持続不能)による低評価も考えられるため内容の分析には十分な検討が必要である。	1.専任教員は学生の満足度に関して統一した見解を持ち努力を怠らず互いにチェックし合い改善を継続する。 2.学生アンケートを年一回実施、結果から講師への授業改善の依頼を講義開始前に実施している。	3	【濱】 授業を受ける側の学生一人ひとりの声に耳を傾けることも重要だと感じました。
	3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	本校の建学の理念「実学教育」に基づき、消防・臨床現場にいた教員で学科教員を構成してきた経緯があり、それぞれの現場での経験は豊富であるが統一した教育への努力が継続して必要である。また、現場を離れて年数がたつと日々の業務に忙殺され新しい取り組みが後回しになることがある。現状の業務と新しい取り組みとのバランスのとおり今後の課題となる。いずれにしても各立場から「理想的な救急救命士の教育とは何か」を常に考え他者と協議しながら教育を実践していかなければならない。	1.現在、専門職教員の確保は必要教員を行っている。 2.卒業生で中堅程度の教員の確保に向けて努力している。(職員の高齢化) 3.チューター制度を活用し学生との距離感を近づける。	2.5	
4 教育成果	4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	専門性を活かせる就職先が公的機関(消防)である場合が多い。自治体単位での試験遂行のため、就職試験の多様化・権限性があり、対策を立てる上での困難がある。これについては対策教員との情報共有に努めている。卒業生を含めて少しずつ希望職種に就職できるように指導できている。 今後は知力・体力・精神力共に更なる向上が得られるよう努力を要する。	1.データの可視化 2.指導の標準化 3.卒業生との情報共有化に努める。(OG・OBガイダンス) 4.文章力、自己表現力を向上させるためのキャリア教育を授業に取り入れて全員が均等に意識と教養を高めていく。	2.5	【正井】 学校側の努力の賜物だと思います。 【濱】 自身の学生時代よりもさらに工夫してキャリア教育を取り入れられていることに驚きました。
	4-20 資格取得率の向上が図られているか	公的機関に比べると合格率は低迷している。専任講師を含めてさらに努力を要する。学生においても低学力の学生への対策にマンパワーが吸収されているので人員の確保を含め、チューター制度・学生チューラントティーチャー制度など他校との情報交換を密にし、改革していく必要がある。	1.学力低迷者が、就職試験に比重を重くしている間の専門知識の継続学習が困難となりがちである。低迷者は、常に専門科目の学習に目玉させている。専門科目成績不振者は保護者理解の元、専門職採用の受験を制限する。 2.1.2年の模擬試験の回数も増やして補習などを工夫している。(国家試験対策の前倒し)	2.5	【正井】 消防職員の救命士養成所では入所時には国試合格レベルに達しています。 2年生の時に国家試験合格レベルに達しているべきだと思います。

東洋医療専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料②【鍼灸師学科】

令和元年度自己点検自己評価(平成31年4月1日～令和2年3月31日)による

評価委員氏名【富永 礼子、川畑 成希、酒井 美登子】

項目	点検項目	自己点検		評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		AMT	重点目標		
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	業界の人材ニーズは社会人基礎力(マインド・スキル)・コミュニケーション力が備わった人材である。次に、基本的な知識技術が備わっており、幅広く柔軟、かつ即戦力となる知識・技術を備えていることである。人間性や社会性・技術や知識双方を備えた人材育成が重要であると考え、柔軟な思考を培うとともに、卒業後に遭遇するさまざまな場面に対応できるように指導している。	業界のニーズに合った人材を輩出できているかの判断は、卒業生の業界での活躍具合や、雇用主からの評価で決まる。卒業生の就職先を訪問し、ヒアリングの機会を多く設けることで、自己満足に陥らない教育効果のエビデンスをとっていく。	2.3	【富永】 自己都合での離職率を把握しておりませんので、教えていただきたいです。 【川畑】 実際卒業生の就職先はどのような方向で進んでいるのか、また卒業生の活躍ぶりを教えていただきたいです。
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	科目ごと、学年ごと、そして卒業までの到達レベルをシラバス等で明示する。社会や現場で求められるレベルまで高めることが養成校の責務。 3年間を通じてそれぞれの目標を設定し、定期試験や模擬試験、認定試験・進級試験・卒業試験などにより確認している。最終的に本学科の養成目標である「社会から求められる鍼灸師」の輩出につなげる。	教育や最終的な養成目標に到達させるために、無理なく成長できるタイミングやレベル設定が必要で、3年間を通じた大きな流れができていくが、目標はそれぞれ適切な時期に設定されているか見直し、さまざまな意見を取り入れ改善する。	2.7	【川畑】 授業をオンラインで行うなど体制がうまく整っておられることに感心しました。今後登校が出来なくなるような状況が起きてもカリキュラムに支障ができない仕組みを作っていただければと思います。 【酒井】 実際に講師として授業実技に関わらせていただき、専任の先生方の努力が伝わります。
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	前項で記したように、養成目標に向けた大きな流れを考慮してカリキュラムは編成しているが、これらが適切であるかを日々検証していくと同時に大切なことは、専任教員・講師がこれらをしっかりと共有できているか、学生にしっかりと伝えているかということである。共有し、伝えていく場を設けなければならない。	学生には定期的な養成目標とそのために必要なことを伝えていく。講師とは講師会議等を通じて学校が考える教育を伝え、議論し、意見をもらい、反映させていく。	3.0	【川畑】 教員間でしっかりと情報共有し、実行に移せていると思います。
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けがされているか	シラバス・教務日誌によりおたがいの指導内容や進行状況を把握できるようにしている。教育内容が時期を踏まえ、無理なく学習できるようカリキュラムが組まれている。それぞれの科目がほかの科目のフォローをできる授業内容をとっている。	今年度は休校機関もあり、学習のタイミングや内容のコントロールが多少狂いつつある。学生に不利益がないよう、適宜補習や個別指導を通じて修正をかけていく。	2.7	【富永】 リモートによる授業も早々から取り入れられており、充実していると感じました。 【川畑】 学力に差が出てくると思いますので、特に本年度はフォローがどこまでできるかが重要だと思います。
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	キャリア教育が特に必要とされる層間部の学生に対して、コミュニケーション学の授業のなかでおこなっているほか、マナー教育・就職ガイダンス・コミュニケーション教育・マネジメント教育、社会人直前講座・キャリアNAVI・退職職マナー講座などをとおこなっている。	前項同様、今年度は例年ならおこなわれているキャリア教育が予定通りおこなわれていない。特に不安があるのが新入生と3年生である。学習の遅れを取り返すことのみならず、これからできることを検討し再構築する。	2.3	【富永】 多岐に渡った対応で、徐々に社会に出ていく準備がなされていると感じました。 【川畑】 コロナウイルスの影響で厳しいかもしれませんが、できるだけ例年に近い状態で実施していただきたいです。 【酒井】 特に層間部の若い学生にとってはとても大切なことだと感じています。
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	学生面談や学生アンケートをおこない、個々の授業に関して学生の意見を吸い上げ、不適切なものに関しては改善策を話し合い、実行している。	学生面談も学生アンケートもおこなってはいるが、回答の検討や分析や、それを改善につなげるところが不十分である。総括し、改善につなげていく。	2.3	【富永】 学生の意見も取り入れていただき、何でも相談できる信頼関係が構築されていると感じました。 【川畑】 学生がどういふことで悩んでいるか等意図を考えながら的確なアンケートの作成が必要です。
3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	資格要件の確認だけでなく、実績・実力ある教員を採用している。学生にとって利があるか否かを総合的に判断し、適材適所の人事をおこなう。	専任教員は知識はもちろん、授業のスキルアップができる機会を積極的に利用する。グループ全体の研修会参加だけでなく、学内で相互に指導しあえる機会を設ける。	2.7	【富永】 教員間の情報共有は特に大切で授業に還元していただけるよう希望します。	
4 教育成果	4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	学科開設以来就職率100%を継続している。それに加えて、早期の内定獲得にむけて取り組んでいる。求人も非常に多く確保できている。卒業生の就職先、あるいは経営する治療院からの求人が年々増えている。	就職先の確保は順調だが、より質の高い就職先の確保を目指して努力・工夫していきたい。就職だけでなく、離職率を下げるため、学生の希望調査や就職先の情報確保から、マッチングの精度を上げていきたい。	2.3	【富永】 コロナウイルスの影響で例年以上に難しいかと思いますが、100%を期待しています。 【川畑】 コロナウイルスの影響で厳しい状況になるかと思います。就職できない学生がでないよう最善を尽くしてもらいたいと思います。 【酒井】 すでに治療院に就職のDMが届いています。
	4-20 資格取得率の向上が図られているか	安易に留年生を多く出すことによって合格率100%を目指すのではなく、全員受験を本分としてきた。留年生を含む本当の合格率は他校と比較しても相当高いものと思われる。最終目標は入学者数=国家試験合格者数である。例年授業や補習による対策は比較的うまくいっている。	やはり今年度は対策に相当遅れが出ている。さまざまな仕掛けを用意し、遅れを取り戻し、例年通り3年生全員卒業、全員合格を目指す。	3.0	【川畑】 昨年の結果はとても素晴らしいです。この点を活かして今年も同じ結果を目指してください。

東洋医療専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料② 【柔道整復師学科】

令和元年度自己点検自己評価(平成31年4月1日～令和2年3月31日)による

評価委員氏名【徳山 健司、布田 久登、小澤 庸宏、中村 義毅】

項目	点検項目	自己点検		評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
		JT	重点目標		
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	入学前よりコミュニケーションの重要性を周知させており、在学時にも可能な限り授業やイベントを通じ学生自身が積極的に行動するような仕組みを作っている。	入学前より柔道整復師として職業意識を高めるべく指導している。また1年生の早い段階より希望者に対し外部研修(施術所・スポーツ現場など)を実施しており、より早い段階でのキャリア教育を進めている。基本的には昨年同様「前に踏み出す力」「チームで働く力」「考え抜く力」を意識した教育を実施していく。	2.0	【中村】 明確に目的・目標を立てるため、色々な業界で活躍しているOBOGIに来院してもらい、現況報告や卒業後のイメージを学生に持たせることが必要だと思います。 また、様々な医療現場に見学に行き、興味を持った点を報告させることも必要だと思います。 【徳山】 業界は療養費の適正化について問われている中でしっかりコンプライアンスの意識づけが必要だと思います。 【布田】 本を読む大切さを教えてあげると教科書を読むようになると思います。
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	新年度が始まる際に各学年における到達目標・数字基準を明確に伝えた規約として明示している。	内規により明確に設定しているが本年度学生指導要領(p16)にも記載している。特に初年度教育では今後各科目毎の詳細を作成していく必要がある。	2.3	【小澤】 接骨院、医院、介護施設等多種にわたる職場を見学あるいはZOOM等の見学会で知ること早い段階から資格を活かせる場のバリエーションを知ってもらうことが必要だと思います。 【徳山】 3年制教育で新カリキュラムに対応するための学校独自の特色が必要です。
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	学生便覧や内規により明示され、入学する前から目標達成のイメージが出来るようになっていく。また入学後はオリエンテーション資料などを使い学年毎に周知させている。	本年度で新カリキュラム内容が全て授業内に導入された。3-13同様必要なものを必要な学年に組み込んでいるが諸所の微調整は今後必要であると考えられる。	2.5	【小澤】 高齢者の身体機能、運動指導に関する項目が加わっている点が素晴らしいと思います。 【徳山】 新カリキュラムに対する履修時間の確保や臨床実習についてのカリキュラムの構築が必要です。
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	概ね適正に位置づけられ、且つ明確に学生便覧に記載されている。	各科目とも必要な時期に必要な内容を教授している。 教育指導要領p16	2.5	【布田】 教科書を読むことで学生自身が何がわからないか等疑問点を明確にできると思います。
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	滋慶教育科学研究所主催のキャリア教育研修を全ての教職員が受けており、それを基にキャリア教育を実践している。	授業以外のイベントや学生指導の際にもキャリア教育を意識しており3年間の教育期間中継続して主体性の確立・医療従事者として必要な態度を育てている。	2.3	【小澤】 研究発表や教員とともに取り組む技術の発表など接骨医学会等で発表されている内容を学生に聞いてもらう機会を設けるのはいかがでしょうか。 学生時代に研究発表を行うことで、成功体験に繋がると思っています。 【徳山】 コミュニケーション能力の強化および職業倫理の徹底が必要です。
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	学生アンケート実施により評価の良くないものに関してフィードバックを実施している 学生満足度アンケート実施 学生面談時の情報収集	授業満足度アンケートを学生に対して実施している。内容については各教員に対して開示しており、また評価内容について責任者と面談を実施している。今後は非常勤講師に対しても開示していく予定である。 また評価ではないが各教員の授業内容に対する気づきを促すため学科内FD研修を行っている。	2.3	【徳山】 様々なクレームの中で特に保護者からのクレーム対応が課題だと思います。
	3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	採用時には理事長、学校長、学科長により履歴書の他、面接、面談などを実施し採用決定し、FDを実践している。	特別授業に特化した教員の確保を目指しているわけではなく東洋医療専門学校の考え方に賛同いただける教員の確保に努めている。 就職いただいた教員についてはグループ力を活かした新入職者研修・コンピュータ研修・キャリア教育研修・FD研修・フォローアップ研修などに積極的に参加させている。学校の育成目標に向けた授業を学生に享受できるよう努めている。	2.8	【小澤】 人格と人望を持ち、学生が安心して相談できる教員の姿を見て学生も成長すると思います。
4 教育成果	4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	学生の就業意欲を高めるために教員、キャリアセンターからの指導を徹底している。 就職先の確保のため上記同様に連携して、業界への訪問を行っており、業界からの認知を高めるために就職説明会を定期的実施している。	就職希望者に対し、年内100%の就職率確保に努めている。また段階的に就職に対する意識付けをキャリアセンターが主となり実施している。	2.8	【小澤】 女性柔道整復師が活躍しておられる職場や職種を紹介して卒業後のイメージを持っていただく必要があるかと思っています。 【徳山】 資格取得と就職のバランスや国試不合格となった時の雇用取消の対応が課題だと思います。
	4-20 資格取得率の向上が図られているか	当校の国家試験合格率は全国平均水準レベルを常に上回っており一定以上の合格率を取れるシステムが構築されている。またグループ力を活かした独自の取組も持つ。	3年間を通じてD _o 率0%、国家試験合格率100%を達成すべく教職員一同取り組む。 本年度数値：別紙参照	2.0	【小澤】 ぜひ合格率100%を達成していただきたいと思っています。 【徳山】 2022年出題基準について早期の対応が求められます。 【布田】 退学の原因を考え、対策を講じるべきだと思います。